

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 友だちいっぱい 蒔田の子」

横浜市立蒔田小学校だより

平成27年度

まいた

8・9月号

平成27年8月27日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>



校長 保科 泉

本当に暑い夏でした。今週に入ってやや秋の兆しも感じられるようになりましたが、夏休み中の蒸し暑さは尋常じんじょうではありませんでした。

そんな中、夏季水泳教室は、今年もたくさんの子供たちが参加しました。水に親しみながら、自分の泳力、体力を伸ばそうと夢中になつて水しぶきをあげている様子がまぶしく目に焼き付いています。その頑張りの一端が、七月三十日に南小学校で開かれた南区水泳記録会で表れ、出場した選手のほとんどがベスト記録をマークしました。その中から、南区代表として六年の、Aさん（五〇m平泳ぎ）Bさん（五〇m背泳ぎ）が、二十五日に横浜国際プールで行われた「横浜市小立学校水泳大会」に出場し、それぞれ記録を伸ばしました。



七月中、校門の横の（保護者の方が寄贈してくださった）ユリが次々に咲き、雑草だらけだった斜面地を鮮やかな赤や黄色に染めてくれました。八月の中旬には、栽培委員の子供たちが蒔いたヒマワリが、円形校舎前の花壇で夏をおう歌しているかのように咲き始めました。授業再開の日に子供たちに出会えることを楽しみにしているようです。五年生が六月に田植えをしたバケツ稲は、夏休み中も世話と観察を続けていきましたが、その甲斐あつて小さなちいさな花が咲き、その後も順調にモミがふくらんできています。秋の収穫への期待がふくらみます。夢の池でも、春先に生まれた小さな子鯉たちが日に日に成長して、大きな鯉の間を元気に泳ぎ回っています。

この八月は、終戦から数えて七十回目の夏でした。ご家族や地域の方々の中には、先の戦争を体験された方がいらつしやると思います。そういった方の声をしっかりと伝えていくことの大切さを一層痛感する夏でもありました。人を、命を大切にし、様々な人と共に生きていくことの大切さを伝え、子供たちが生きる未来を平和な世界にすることが、大人の使命であるとあらためて肝に銘じた八月でした。

九月一日には例年通り総合防災訓練として、保護者引取り訓練を行います。それに向けて一人一人の子供、そして大人が防災減災の意識をしっかりとつために、日本赤十字社で作成した資料を使って全校で防災教育の授業を行います。ご家庭でもぜひ話題にしてください。

今年の夏休み、お子様はどのような体験をすることができたでしょうか。「小学校の夏休み」は貴重な記憶として、時として人生を左右するきっかけになることもあります。そして、様々な体験が体も心も大きく成長させる栄養となります。一回り大きくなった蒔田っ子！楽しみにしています。